

ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Since 2007



写真：フジ

海上の森の木々は花の季節を迎えています。

花が咲くと、思いがけない所に木があったことに気づかされます。

6月になると田植えが始まり、ホタルも舞い始めます。



特集 海上の森はいま

海上の森調査報告 第1号を発行しました
海上の森サポーター制度を紹介します
新所長あいさつ

 **この人!** <子ども達に楽しい森林体験を!>

海上フォレストキンダーガーデン 長江信久さん

情報ライブラリー図書を紹介します

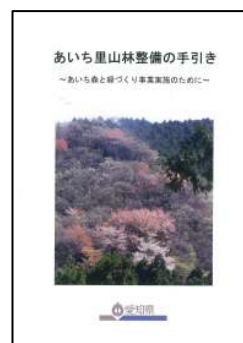
あいち里山林整備の手引き ~あいち森と緑づくり事業実施のために~

愛知県では、「あいち森と緑づくり事業」として、森林や里山林、都市の緑の整備・保全を行っています。

この冊子は、県内の里山を整備するにあたって、森林・里山整備を行う団体向けに配布する目的で、愛知県が発行したものです。愛知県の里山の現状と問題点、調査や整備の方法、愛知県の自然環境や里山の代表的な植物などが解説されています。

里山について知りたい、整備をしてみたいとお考えの方は、ぜひご一読ください。

発行：愛知県（農林水産部農林基盤担当局）



特集 海上の森はいま

海上の森調査報告 第1号を発行しました

海上の森の自然環境の把握と理解のために、また海上の森の保全のあり方を検討する基礎資料として、海上の森で実施された調査の結果をまとめた「海上の森調査報告 第1号」を発行しました。



あいち海上の森センターが平成 23 年度に委託して実施した湿地調査 (5 年に一度、2 年かけて調査しており、今回は中間報告を収録)、ホトケドジョウ調査、オオタカ・ハククマ調査に加え、「モニタリングサイト 1000 調査の会」が実施したモニタリングサイト 1000 里地調査の平成 22 年の結果、そして NPO 法人海上の森の会の自然環境調査グループが実施した生物季節調査の平成 18 年から 22 年までの結果を収録しています。一般配布は行っていませんが、あいち海上の森センターおよび愛知県内の各図書館に置いてありますので、ご活用ください。

※まだ準備できていない図書館もありますので、最寄りの図書館に置いてあるかどうか、事前にご確認ください。

※まだ準備できていない図書館もありますので、最寄りの図書館に置いてあるかどうか、事前にご確認ください。

海上の森サポーター制度を紹介します

あいち海上の森センターでは、海上の森の保全と活用に関する活動に取り組んでいます。このうち、草刈りや柵などの補修を行う海上の森の環境整備、自然情報などの提供、工作の指導や展示を手伝っていただく活動補助など、センターの活動に協力していただけるサポーターを募集します。

海上の森のマナーを守り、海上の森のための活動を手伝いたいというお気持ちがある方でしたら、どなたでも登録していただけます。

興味がある方は、センターまでご連絡ください。



新・所長あいさつ

本年 4 月から赴任しました近藤です。昭和 60 年 2 月、森の南にある、高齢級になってなお成長し続けているヒノキ林を、寒さに凍えながら調査したのが、私の懐かしい「海上」体験です。

当センターでは県民の皆様が楽しみながら学べる体験学習プログラムや、持続可能な社会づくりを目指して、実践的な環境活動を行う人材の育成・活動を支援する海上の森大学、人と自然の共生国際フォーラムなどを実施しています。こうした学習と交流の拠点づくりへのご理解、ご参加をよろしくお願いいたします。また、それらには出られないという方も、森林を中心とした多様な自然環境が保たれている海上の森に是非足を運んでみてください。自然を満喫するもよし、他の方々との交流を育むもよし、季節毎に表情を変える海上の森を訪れて体感されることは、きっと人生を豊かにする助けになるのではと思います。



展示の冒玉

ムササビ 100 匹大作戦！！

現在、1 階展示室では、木製のムササビ約 100 匹が出迎えてくれています。

このムササビたちは、平成 24 年 3 月 24 日にセンター内で行われたイベント「ムササビ 100 匹大作戦」において、来館者の方々が制作したものです。



↑ムササビ制作の様子 (平成 24 年 3 月)



また、展示室奥のムササビは、あいち自然ネットに加入している団体の紹介をしています。個性豊かなムササビたちを、ぜひ見に来てください。



<子どもたちに楽しい森林体験を！>

海上フォレストキンダーガーデン 長江 信久さん

私は、山で斜面すべり（自然のすべり台）や、つるにつかまっのターザンごっこ、川で“サワガニとり”、池で“ザリガニつり”と、日が暮れるまで、仲間と遊びこんだ子ども時代を送りました。

そして、三年前にムーアカデミーの研修で“自然の素晴らしさ・大切さ”を学んだことをきっかけに、“海上フォレストキンダーガーデン”の活動をスタッフと共にスタートさせました。

自然豊かな海上の森で、子ども達が、自然に親しむ中で、四季を感じ、全身を使って遊ぶ楽しさを仲間と共に体験してほしいという願いをもって活動しています。

春には、森を歩きながら“あっ、かわいい花”“この葉っぱ食べれるよね——すっぱい！”（カタバミの花）、“かわいい！松ぼっくりの赤ちゃん！”

夏には、森を流れる小川で“冷たくて気持ちいい！”“カニみつけた”

秋には、“葉っぱが赤くなってきた”“エビフライ（リスが食べた後の松ぼっくり）みつけたよ”

冬には、“木からけむりが出てる”（雨上がり

後、おひさまがあたって湯気が出ていた）“カマキリのたまご”“豆の皮かな？かたいよ”（藤の実をみつけて）等、子ども達は森の植物や生き物と出会い、いろいろな発見や感動を体験しています。

子ども時代に、仲間と時を忘れて自然の中で遊びこむ体験は、何ものにもかえがたい貴重な宝物として記憶に刻みられます。

参加した保護者から、「回を重ねるごとに、自然の中で遊ぶ楽しさに引き込まれました」「私自身子どもの頃、家の周りの山で探検していたことを思い出し、散策を楽しむことができた」と感想が寄せられました。

今後も、海上の森の活動を通じて、自然のすばらしさ、不思議さを、子ども達に伝えていきたいと思います。

海上の森で月に1回（土曜日）活動していますので、興味のある方はぜひご連絡ください。

<プロフィール> 1956年生。瀬戸市在住。学校法人あいち児童文化学園 はちまん幼稚園勤務。2010年より海上の森にて「海上フォレストキンダーガーデン」の活動をスタートさせて3年目を迎える。



センター職員の随想リレー

かたりべのひと言!

春の花に思う

春といえば、桜でしょうか。しかし、今年はいつまでも寒く、開花が遅れました。海上の森でも、スマレ、ミツバツツジ、シデコブシなど開花が遅いように思われます。でも、ハルリンドウやショウジョバカマの青とピンクの花を見ると肌寒い風の中でも、やはり春を感じます。そうそう、サテライトの前にある枝垂桜は、4月5日に開花を始めました。

こうした早春の花が過ぎれば、次に咲くのは、あまり美しいとは言えないスルガテンナンショウや可憐なチゴユリ、ニガナ、ニワゼキショウなどです。海上の森の道端は、そうした道草でいっぱいとなります。そこには希少な植物もあれば、そうではない植物も一緒に生育しているのです。そう、季節が来れば、当たり前のように、そこに花が咲く。私は、そのことが、とても気に入っているのです。皆さんは、どうでしょうか。 (SKI)

森のなかま

スルガテンナンショウ(駿河天南星)サトイモ科



春になると、森の中の湿り気のある道端に、細いタケノコのようなものを見つけることができます。名前はスルガテンナンショウで、東海地方に分布する多年草です。タケノコからは鳥の翼のように広がる葉と、ぶつえんぼう仏炎包と呼ばれるつつに包まれた花が出てきます。

サトイモの仲間地下に芋を作りますが、この芋は食べられません。また、芋が小さいうちは雄花をつけませんが、大きくなると性転換して雌花をつけるようになります。

若葉の美しい春の森で、少し不思議な雰囲気のある植物です。

参考：愛知の自然観察ガイド1

『尾張の自然ガイドー自然は友達』



花の様子

参加者募集 もりもり 集まれ!



平成24年度あいち海上の森大学受講者を募集します

あいち海上の森センターでは、持続可能な社会を目指すうえで、人と自然の新たな関わりをどのように捉え、自然と共生することの基本的な価値観や哲学をどこに置くか、基本から学ぶ場を設けることを目的として、平成19年から10年間、あいち海上の森大学を開校しています。

開校期間は7月～12月で、今年度は以下の3コースを開催予定です。

森林再生コース (全15日間)

森林再生に向けた取組や地球環境に森林が果たす役割などを広く学びます。森林政策から森づくり、資源利用まで幅広い講座を用意しています。

国際交流コース (全6日間)

留学生など、外国籍の方が対象です。日本の自然や保全の取組み等を解説します。他コース受講者との交流を通して活動の幅も広がります。

市民活動コース (全15日間)

NPOなどの市民活動のあり方について学びます。また、持続可能な暮らしをテーマとして、自分たちで活動の企画・実践も行います。



平成23年度 講義の様子 (森林再生コース)

受講料は無料で、コースは一つしか受講できません (他コースの聴講はできます)。また、開校記念講演と、一部の基礎講座は一般受講を受け付けます。

過去の講義内容は、あいち海上の森大学ホームページ上で公開しています。入学・一般受講を希望する方は、同ホームページ上で公開予定の募集要項にしたがって、申し込みを行ってください。募集期間は5月上旬から6月下旬を予定しています。

公式ホームページ「あいち海上の森大学放送局」
<http://www.mu-academy.jp/daigaku/index.aspx>

海上の森体験学習プログラム



イベント名	開催日	定員	募集期間
調査学習会 - 海上の森の夏のキノコ -	7/15 (日)	50名	5/15 - 7/1
調査学習会 - 海上の森の水生生物 -	7/29 (日)	30名	5/29 - 7/15
調査学習会 - 海上の森の昆虫 -	8/5 (日)	50名	6/5 - 7/22
森の教室 - 森の自然探検「森であそぼう」 -	8/18 (土)	50名	6/18 - 8/4

対象:小学生以上、小学生は保護者同伴

《応募方法》

官製はがき、FAXまたはE-mailに ①参加希望プログラム名 ②住所 ③氏名 ④電話番号を記入し (応募者の住所等が異なる場合は全員分)、申込期限 (当日消印有効) までに下記の申込先へお申し込み下さい。申込多数の場合は、抽選により決定し結果を通知します。

《申込先》

NPO 法人 海上の森の会 (〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1 「あいち海上の森センター」内「海上の森の会」事務局
 TEL/FAX: 0561-21-9298 E-mail: morinokai2004@kxa.biglobe.ne.jp)

編集後記

海上の森のサクラも見ごろを終え、新緑が目眩しい季節がやってきました。木々は一日ごとに葉を茂らせ、変化が目に見えてわかります。今春からサポーター制度が始まりました。多くの方の参加をお待ちしています。

編集・発行 あいち海上の森センター(ムーアカデミー)

発行日 平成24年5月23日

〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

